

かんきょうを 考えるコーナー

環境課

今月の環境キーワード

ハイブリッド自動車

ハイブリッドという言葉は、雑種、混成物などの意味でガソリンエンジンまたはディーゼルエンジンと電気モーターを搭載した自動車のことです。燃費性能、環境性能、走行性能に優れていることで注目を浴びています。特徴は加速時における電気モーターの活用、減速時のエネルギーの蓄電などにより、燃費を向上させることができます。それにより、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や大気汚染物質である窒素炭素物などの排出を抑制することができます。さらに、加速時に電気モーターを活用することで加速性能を高め、より快適に走行を実現することも可能です。

ごみの減量にご協力ください！

平成27年度池田町から出された、可燃物の量は3,131tでした。

平成26年度の可燃物の量と比べ約56t多く池田町からごみが出されました。

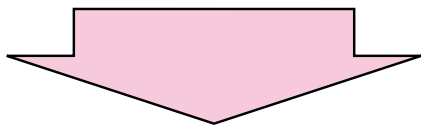
このごみを少しでも減らすため、皆さんに次のことをお願いします。

1. 水切りでごみ減量を！

生ごみの約80%は水分です。生ごみの水分は、腐敗や悪臭の主な原因です。

ごみを出す前に水分を減らす工夫を

- ①水に濡らさない！
- ②しぼって乾かす！
- ③ごみ出し前にひとしぼり！



- ①嫌な臭いが減る！
- ②ごみが軽くなる！
- ③効率よく焼却でき、燃料費が減少する！

ぎゅっと
しぼってね！



2. 生ごみ処理器設置補助金制度の利用

池田町では地球に優しく、ごみ減量化に貢献する生ごみ処理器の補助金制度があります。

生ごみ処理器には、電動式・コンポスト・ぼかし容器があり、それらを利用すると、生ごみの排出量がグッと減ります。

■補助金額

・電動式

購入金額の3分の1以内
(限度額2万円)

・コンポスト式

購入金額の2分の1以内
(限度額3千円)

・ぼかし容器

購入金額の2分の1以内
(限度額3千円)

補助金制度の利用については、まずは生ごみ処理器を販売店などで購入してください。

その後、役場環境課にあります補助金交付申請書に必要事項を記入の上、

- ・カタログ（または説明書）のコピー
 - ・領収書のコピー
 - ・設置後の写真（電気式のみ必要）
- を添えて提出してください。

池田町から少しでもごみが減るようご協力お願いします。

今月の

Environmental Eco

平成十六年「生ゴミを資源に！生ゴミをEMボカシで肥料化する」NPOがスタート。以来、町当局のご指導と共に「EM野菜は安全で美味しい！」の声をお寄せくださった多くの皆さまのおかげで、歩みを進めることが出来ました。改めてお礼を申し上げます。先日、EMボカシを使い始めた方から、「EMは土の中でどんな働きをしているか」との質問を受けたので、その一端を話します。例えば作物の根元に腐敗菌がウヨウヨしていたら、うまく育ちません。そこでEMたちはどんな事をするのでしょうか？

まず81種類の微生物の中で、乳酸菌、光合成細菌、酵母が、先ず腐敗菌を殺すことなく、分泌物で厚い壁を作って、閉じ込めてしまうのです。

一方、腐敗菌のストレスが無くなった微生物たちは、有機物を分解し、活成物質を生成するだけでなく、仲間と生成したものを交換し合い、より良い活性物質を生成するので、作物も元気に育っていきます。

それにしても、腐敗菌を微生物の分泌物の厚い壁に閉じ込め策を誰に教えてもらったのでしょうか。

来年もよろしく。

● 出前 EMボカシの不思議

日時 12月6日(火)、12月13日(火)、12月20日(火)

会場 午前9時30分～正午まで
リサイクルセンター

● 問い合わせ

NPO法人 Waコミュニティ

(石井) ☎45・3580、

角田 ☎45・2039) まで

● EMボカシ販売所

JAIび川グリーンセンター ☎45・0210

中村種苗 ☎45・2265

中野種苗 ☎45・4851

富士屋種苗 ☎45・1020

道の駅池田温農産物直売所 ☎45・1020